

# 1 損益計算書とは

株式会社ジュエリー商会は、宝石や貴金属類の小売りを行っています。まだ開店して間もなく、今日、初めて4月分の決算資料が経理担当を仰せつかっている新米君のところへ、会計事務所の江羅井先生から届けられました。



**Q** 先生、今月の決算はどうだったんでしょうか。

**A** 15万円の黒字ってとこですね、新米君。

**Q** 社長に報告しなければならぬんですけど……どんな内容なんですか？

**A** まず、この「損益計算書」を見ていただきましょうか。

## 儲けを知るための表

### 損益計算書

平成〇年4月1日から  
平成〇年4月30日まで

費用の部		収益の部	
売上原価	80万円	売上	140万円
給料	30万円		
家賃	10万円		
支払利息	5万円		
純利益	15万円		
合計	140万円	合計	140万円

## 売上から諸経費を引けば



**A** この表で、左側の一番下に出てる“15万円”が利益です。この1カ月間に売上が“140万円”あって、そこから売上原価や給料などの支払を引いた残りが、「純利益」ってことです。

**Q** 「売上原価」って何ですか？

**A** その前に——この1カ月間の会社の動きについて、以前に次のようなメモを新米君からいただきました。それと関連させながら説明しましょう。

- 4月1日 資本金1,000万円で、株式会社ジュエリー商会が設立された。
- 4月5日 ショーケースや応接セットなどの備品類を200万円買った。
- 4月10日 商品の宝石類を次のとおり、合計120万円分仕入れた。  
 ダイヤモンド1個 50万円  
 ルビー1個 30万円  
 サファイア1個 40万円
- 4月12日 銀行から200万円借り入れた。
- 4月15日 ダイヤモンドが80万円で売れた。
- 4月20日 ルビーが60万円で売れた。
- 4月25日 店員2人分の給料30万円支払った。
- 4月28日 店の家賃を10万円支払った。
- 4月30日 銀行からの借入金利息3カ月分5万円を支払った。

## 儲けの元手が売上原価



**Q** 損益計算書で「売上」が140万円になってるのは、15日と20日にダイヤモンドとルビーが売れた分のことですね。

**A** はい、そうです。この140万円の全部が“儲け”じゃないというのはわかりますね。

**Q** そりゃあそうですよ、元手が掛かってますから……。

**A** その“元手”というのが「売上原価」なんです。つまり、ダイヤモンドとルビーの仕入値が両方で“80万円”で、これが損益計算書に載ってるってわけなんです。